

# 鍼灸学科

## 3つのポリシー

### 学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)

鍼灸学科では、鍼灸師としてあらゆる患者（クライアント）の心と身体の健康を支え、自らが関わる業界の発展に寄与できるような人材の育成を目指します。そのため、以下の資質・能力を身につけ、所定の単位を修得した者に卒業を認めます。

1. 医療、スポーツや美容の分野においてクライアントの状況に応じた施術を選択・実施できる高い知識と技術を有している。
2. 鍼灸師として必要な倫理観をもとに自らが関わる全ての人に対して誠実に対応できる人間性を有する。
3. 飽くなき探究心から鍼灸臨床で遭遇する課題を解決するために日々研究に努め、社会に貢献できる。

#### 〈卒業の認定〉

本学科の修業年限である3年以上在学し、下記に定める授業時間以上を履修し、かつ該当する所定の授業科目及び単位数を修得し、卒業審査に合格した者について校長が卒業を認定します。

授業時間数：2655 時間

所定の単位数：96 単位

卒業審査にあたっては、次に掲げる3項目に基づき、学科長が判定します。

#### 1. 履修時間の出席率

授業科目ごとの出席時間数が履修時間数の3分の2に満たない者、および実習の出席時間数が履修時間数の5分の4に満たない者は、履修の認定をしないこととする。

#### 2. 授業科目ごとの学業成績

#### 3. 実習先施設の評価

なお、卒業の認定は最終学年の終わりに行います。

### 教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)

鍼灸学科では「学位授与に関する方針(ディプロマ・ポリシー)」に基づき、鍼灸臨床において必要な知識・技術・人間性(価値観・倫理観)を身につけるカリキュラムを開講します。

#### 1 年次 (基礎)

東西医療の基礎知識や鍼灸の基礎技術を養います。

人体の構造と仕組みを理解するために解剖学や生理学を学ぶとともに、経絡経穴概論や東洋医学概論

を通して東洋医学的生体観を身につけます。また、はり・きゅうの基本操作を習得しながら、医療概論や職業倫理において鍼灸師として備えるべき価値観・倫理観を知り、理解します。

## 2年次（応用）

東西医療の専門知識・鍼灸の応用技術を養います。

病理学概論、臨床医学総論・各論や東洋医学臨床論を学び、疾病や障害のメカニズムを理解すると共に西洋医学的評価法（検査法等）や東洋医学的診察法（証立て）、さらには選穴法を修得します。

またスポーツ現場や治療院での実習を通して、鍼灸師として備えるべき価値観や言動に対する意識を高め、医療人にふさわしい人間性を育てます。

## 3年次（実践）

鍼灸臨床における実践的能力を養う。

臨床実習では、指導教員（あるいは臨床実習指導者）の監督・指導のもと、選手や患者の状況に応じたはり・きゅうの施術を選択・実践することを学び、多くの経験を通して実践力を養います。

また、模擬試験や対策授業を通して、国家試験合格のために必要な知識を身につけます。

## 入学者受け入れの方針(アドミッション・ポリシー)

鍼灸学科では本校の建学の精神である「履正不畏・勤労愛好・報本反始」を元に、次のような能力、意欲や適性を備えた入学者を求めます。

1. 『履正不畏』 “医療人にふさわしい”価値観に基づいた行動を選択できる勇気を持ち、自らが正しいと信じることを実践できる行動力が大切です。  
その第一歩として社会の中で模範的な言動を示せることが必要です。
2. 『勤労愛好』 治療家として、より高度で、より効果的な治療を提供するために、自ら問題提起し、そして解決にむけて努力できる意欲が基礎となります。  
まずは資格取得に向けて、自発的に考え、行動できることが求められます。
3. 『報本反始』 鍼灸師は患者と信頼関係を築きながら社会的背景や心理状態なども把握することで患者の抱える悩みを解決する職業です。そのためには他人への感謝の気持ちを忘れず、豊かなコミュニケーション力で何事にも誠実に対応できる人間性が必要です。